

明海大学



MEIKAI UNIVERSITY



潮風

「直接聞けてよく分かりました」 2017年度地区教育懇談会

就職、成績、留学、生活など気になることは何でも相談を

大阪で行われた「近畿・北陸地区」を皮切りに、今年度も全国10カ所（関東地区を除く）で行われた地区教育懇談会。この会の特長は何といっても、先生と直接話ができること。学生一人ひとりに丁寧に寄り添う大学の姿勢が感じられるはずだ。まだ参加したことのない人は、ぜひ来年度の参加をおすすめする。

9/23
近畿・北陸地区
(大阪市)
会場／アークホテル
大阪心斎橋

つでも外国語を喋れる環境を作った」というMPEC（明海複言語・複文化教育コミュニケーション）などの説明に保護者からは感嘆の声も。「昔と違い今は主体的に学ぶ『アクティブ・ラーニング』が中心。それには設備も大切」と話し、机と椅子をサッと動かしてグループ議論できる空間を設けるなど、教育環境づくりにも力を入れていることが紹介された。



緊張から一転、和やかな懇親会（東海地区／静岡市）

次は鈴木洋州学生支援課長が、欠席のある学生への早期のフォローなど、学生生活のサポートについて説明。就職活動については、3年生の夏休みや冬休みからインターンシップなどの形で就職活動が始まっているのが現状。「企業は厳選空間、自ら取り組み、振り返り、検証できる人がほしいので、それを知るため面接で『学生時代に何力を入れたか』と聞かれる。就活に限らず学生は意識しておいてほしい」、「業種



配布資料を真剣に見る参加者（近畿・北陸地区、大阪市）

9/24
東海地区（静岡市）
会場／ホテルセンチュリー静岡

まず、教育後援会の栗

本真弓会長が「教職員の方とは言葉の話が中心だと思います。教育後援会からも4名参加。同じ保護者の立場で話せるかもしれない。気軽に声をかけてください」と挨拶。安井学長は「保護者と教職員がしっかりとコミュニケーションをとることは、本学の教育の理想。これを実現する貴重な機会を設定してください」と話した。その後の近況報告では鈴木学生支援課長が、とくに就職状況に関して時間を割いて丁寧に説明。今年3月卒業の学生の就職率は94.4%で、ホスピタリティ・ツーリズム学科と中国語学科は今年も100%を達成した。就活スケジュールは、今年度と同様3月広報活動開始、6月選考活動開始だ

が、その前の「インターンシップ」、その準備期間も考える。就職は長期にわたる。厳選採用であることは変わりなく、早めの準備が必要。就職を見据えて学生生活をいかに送るかが大事」と話した。個別面談の後は懇親会。日本語学科の柳澤好昭先生は「静岡は日本語教育の分野で長年関わりのあった場所。やぶそばの隠れた名所でもある。日本語学科の目標は教員を輩出すること。各地に赴任した卒業生が明海大の精神を広げてくれることを願っています」と話した。

9/30
北海道地区
(札幌市)
会場／TKPガーデンシティ札幌駅前

開会にあたり戸澤副会長から「離れて暮らす子どもについて日頃不安に思っていることを安心材料に変える機会としていただければ」と挨拶。続いて、安井学長が、「社会性・創造性・合理性を身に付け、広く国際性未来社会で活躍し得る有為な人材の育成を目指す」と建学の理念を語ったあと、プロジェクト

全体会ではまず、栗本会長が「遠く離れてお子さまを見守る保護者と、親元を離れて頑張っている学生、そして社会人へ大きく成長させてくれる大学とをつないでいくよう、来年度30周年を迎える浦安キャンパス教育後援会は、より一層活発に活動してまいります」と挨拶。

を用いて、昨年度・昨年度に大規模改修した大学の施設を紹介した。次に鈴木学生支援課長が大学の近況報告を行い、就職に関する話では、「親の関わり方としては、子どもの価値観を否定せず、自分の価値観を押し付けない。そして、心の支えになってほしい」と就職活動中の学生に対する親の心構えを力説した。その後行われた懇親会では、アットホームな雰囲気が進み、1年生の保護者からは、新鮮な感想が聞かれた。そして学生のメッセージ動画が上映された。



長から「離れて暮らす子どもについて日頃不安に思っていることを安心材料に変える機会としていただければ」と挨拶。続いて安井学長は「保護者の皆さまと教職員

平成29年5月の評議員会に於いて、役員承認をいただき、各学年5名総勢20名の役員と、事務局の方々と活動してまいりました。各分野の支援や援助と共に、教育後援会の主要事業である地区教育懇談会は、安井学長をはじめとする多数の教職員の皆様の協力の下、各地区で開催することができ、誠にありがとうございます。また、その懇親会においては、先生方との真剣な面談の様子とは異なり、和やかな雰囲気の中で懇親を深めることができました。参加していただきました保護者の皆さまありがとうございます。また引き続きご参加をよろしくお願ひ申し上げます。

最後に、今期は平成30年6月に明海大学浦安キャンパス教育後援会30周年の記念行事を行う準備期間であり、長時間の会議では今まで支えてくださった皆さまへの感謝と共に、30年間の活動を振り返り、これからの時代にあった教育後援会の活動を改めて考察できる機会となりました。これからも、教育後援会は学生・保護者・大学と深く関わり、そしてその3つをつないでいく役割を担って活動してまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

新年のご挨拶 教育後援会会長 栗本真弓

平成30年の新春を迎え、謹んで新年のお慶び申し上げます。旧年中は、明海大学浦安キャンパス教育後援会にご理解とご協力をいただきましたことと心より御礼申し上げます。平成29年5月の評議員会に於いて、役員承認をいただき、各学年5名総勢20名の役員と、事務局の方々と活動してまいりました。各分野の支援や援助と共に、教育後援会の主要事業である地区教育懇談会は、安井学長をはじめとする多数の教職員の皆様の協力の下、各地区で開催することができ、誠にありがとうございます。また、その懇親会においては、先生方との真剣な面談の様子とは異なり、和やかな雰囲気の中で懇親を深めることができました。参加していただきました保護者の皆さまありがとうございます。また引き続きご参加をよろしくお願ひ申し上げます。

控室で個別相談を待つ保護者に話しかける学長(信州地区/長野市)



で、国際社会で活躍できる人材となる学生を育てたい。建学の精神に基づき、どんな状況でも主体的に問題を解決できる力をつけることが必要」と話し、「進級の要件に英検や日商簿記検定などの外部試験も取り入れている。学生も大変だとは思いますが、これらの学習の成果は望む職業に就くことで保護者の皆さまにお示ししたい」と結んだ。

次に学生支援課佐久間健二主幹より近況報告が行われ、年4回の授業出席状況調査では、早期に学生のフォローをすることで授業の欠席や退学等の問題解決の成果が出ている。また大学ホームページで学生の時間割を確認できるので活用を、と呼びかけたり。就職活動についてはより細かな報告がされた。

個別面談では各学科の先生方と成績や留学、就職活動などをじっくりと相談していた。また控室では安井学長が保護者の間を回り、大学への要望や学生の様子などに耳を傾けていた。

10/15 九州地区(福岡市) 会場/ホテルクリオコート博多

栗本会長の挨拶に続いて安井学長は、建学の理念を語ったあと、一昨年度末にリニューアルした図書館の中のラーニングコモンズや、昨年度末に同じくリニューアルした明海復言語・複文化教育コモンズ(MPPEC)などを紹介した。

佐久間学生支援課主幹は、大学の近況報告の中で、修学支援業務に触れ、「2001年度より実施している授業出席状況調査は、休みがちな学生に対して、待ちの姿勢ではなく、大学と保護者で力を合わせて学生の課題解決を図っている」と述べ、学生に寄り添った指導をしていることを説明した。また、就職に関しては、企業が学生に求めるのは「人柄」と「熱意」と「可能性」である

と、3つのポイントを説明したあと、親の関わり方として、自分の経験や価値観を押し付けないことが大切だと力説した。

個別面談後の懇親会では恒例の教職員スピーチの後、今年度卒業予定の二人の保護者が挨拶。一人は教育後援会の評議員と地区教育懇談会とも4年間皆勤であったと司会の秋山教育後援会事務長から紹介された。その後、学生のメッセージ動画が上映された。

地区懇談会の流れ

カジュアルな服装でOK! ぜひ来年度、ご参加ください。

大学の近況&就活の情報をGET!

①全体会

おもに、大学の近況・就職活動について。企業の採用状況や就活の取り組み方など、丁寧でわかりやすい説明がうれしい。



いわゆる『保護者面談』で不安解消!

②個別面談

単位取得状況や成績、出席状況など気になることをすべて解決。就職活動、留学についても相談できる。



教職員や保護者同士、ざっくばらんに。

③懇親会

学長、教授と同じテーブルを囲み、ざっくばらんに話せる機会。大学の様子、先生方の人となり分かり、「安心感」が増すはず。



④閉会 おつかれさまでした。

10/28 東北地区(盛岡市) 会場/ホテルロイヤル盛岡

冒頭、栗本会長が「われわれ後援会は学生・保護者・大学の3つをつなぐ存在でありたい」と挨拶。安井学長は学内の設備を紹介しながら、「大学で学んだことを社会に還元するためには、自ら主体的に動く力が必要。在学中に目標に向かって自分自身で積極的に取り組める環境を用意しています」と述べた。



スライドを使い、大学の施設を紹介(東北地区/盛岡市)

017年発表の求人倍率は1.78倍ですが、あくまで平均値。800人以上の中小企業だけ見るとぐっと上がり、6.45倍。その反面、5000人以上の大企業だと0.39倍と低い。また、金融業は0.19倍と狭き門ですが流通業では12.32倍と門戸が広がる。中堅企業の中には、名は知られていないがオンリーワン・ナンバーワンの会社がたくさんある。知名度だけで判断せず、中身を見て応援を」とアドバイスした。

その後個別面談へ。航空会社のグランドスタッフ希望の学生の親へは3年次からのゼミの募集について、経済学科の学生の保護者には簿記の資格について試験の日程や、授業態度から推測する合格の可能性などを話すなど、一人ひとりに丁寧に対応した。また、学生が下宿するエリアについて「いい環境なので心配いりません。健全なアルバイト先もたくさんあります」と生活面の心配にも

「いい環境なので心配いりません。健全なアルバイト先もたくさんあります」と生活面の心配にも

10/29 東北地区(福島市) 会場/ホテルサンルートプラザ福島

戸澤副会長の「台風接近中の悪天候の中、お集まりくださりありがとうございます」と挨拶。佐々木康史副学長は「本学は2020年に50周年を迎えます。創設当初より、少人数教育を実践、学生と先生方と保護者が非常に近い関係にあるのが特長」と話し、「近年はキャリア教育にも非常に力を入れ、入学当初から就職という出口を見据えた体系的な教育課程を定めています。4年間学んだ学生が卒業後の社会で活躍するために、表現力や論理的思考力も身に付くように取り組んでいます」と述べた。

続いてキャリアサポーターセンター大田原長茂主幹の近況報告。就職状況については、現4年生の内定率が10月25日現在で78.6%。求人倍率は1.7倍を超えているが、企業は厳選採用している。ITやブライダル業界など

2017年度地区教育懇談会出席者数(人数)

学 科	近畿北陸	東海	北海道	信州	九州	東北(盛岡)	東北(福島)	北陸(新潟)	中国四国	沖縄	合計
日本語	0	1	0	0	3	5	3	3	0	1	16
英米語	4	4	2	2	0	4	6	12	0	0	34
中国語	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
経済	0	7	0	2	2	5	7	9	0	1	33
不動産	3	5	4	5	4	2	3	3	9	1	39
H T	4	11	1	3	8	2	4	10	4	7	54
合 計	11	28	7	12	17	18	23	40	13	10	179

●懇談会は4回目。おかげさまで娘が希望の仕事に内定したので今年はお礼も兼ねて。面談では、実際仕事についてのことをお聞きした。大学では本当にキャリアサポートに恵まれたと思う。受験より入ってから進級の方が大変だったようだが、娘にはそれがかえってよかったと思っている(近畿・北陸/H T学科4年)

と聞き、子どもは部活で忙しいので勉強についていけないのか心配で、初めて参加しました。先生からお話を聞いて、不安は少し解消しました(東海/経済学科2年)

●TOEICの点数が目標に達していないので心配だった。所属しているゼミは仲間に恵まれ楽しくやっているが、勉強面でも切磋琢磨するように、とアドバイスをもらった。(北陸/H T学科1年)

留学や普段の生活などの相談も

●自宅に送られてくる成績表は数字だけ見てもピンとこないのですが、見方を丁寧に教えてくださり、心配ないですよと言われて良かったです。いずれ地元に戻ってくる予定なのですが、最初は東京で就職して都会にもまれてもいいのではと思っていますと話したところ、3年生に向けて、親子でしっかり会話をしてみてくださいとアドバイスもいただきました。(盛岡/不動産学科2年)

●本人は留学を希望しているが、漠然としていた。今回の面接で留学に適切な時期などのアドバイスしてもらい、とても参考になった。本人にも早速伝

えた。(福島/英米語学科1年) ●昨年に引き続き2回目の参加です。3年生での留学を考えているので、そのために必要な成績や費用など、詳しい内容を知りたいと相談しました。(信州/不動産学科2年) ●成績表の見方や、進級や卒業に必要な取得単位数の話などを相談しました。本人からもよく連絡はあるのですが、実際に先生方から見た大学での様子を聞いて、安心できました。今後は、留学に必要な成績(GPA)を達成できるように、励ましたいと思います。(信州/H T学科1年)

“地区懇”リピーターより

●毎年参加しており、昨年先生との話で「息子の就職が決まったらまた来ます」と言っていたのですが、無事に就職も決まりその約束を果たせて良かったです。大学の取り組みや子どもの生活ぶりを知る貴重な機会ですとの、この懇談会を有効に利用してほしいと思います。(福島/経済学科4年) ●私は、関東地区教育懇談会にも出席したりしていましたので、岡山は2回目になります。先生方の話を聞きますと、学内の様子や先生方からのリ

アルな雰囲気何えて、岡山にいなから大学のキャンパスを身近に感じる事ができました。また、この地区教育懇談会は、大学と協力して開催する他大学には見られない特色ある事業なので、今後とも継続して行ってほしいと思います。(中国・四国/H T学科4年) ●大学が健診の結果や成績表を送ってくれて、本人の様子も見て大丈夫とは思っているけれど、先生とお話するとやはり安心できる。面談は宅建について相談した。今年希望の会社に内定し、宅建の資格が必要になったようなので、1、2回生のときは留学について相談した。こういう場合は貴重なのでぜひ続けてほしい。(近畿・北陸/不動産学科4年)



色とりどりの料理が並ぶ(東北地区/福島市)

業種によっては広報活動や採用活動が早期に始まる傾向にあるため、早目の情報収集が必要。またIターンUターンでの就職希望者も、地元での就業説明会等で積極的に情報を集めることが大切と話し、3年次のキャリアデザインの受講やキャリアサポートセンターの徹底活用を訴えた。

11/3 北陸地区(新潟市)
会場/ラマダホテル新潟

40名の参加で満席となった懇談会会場。本多輝明教育後援会副会長の挨拶に続き、大津由紀雄副学長・外国語学部長は「私の時代は、先生の話をひたすら聞きノートを

取るという形でしたが、現在はアクティブラーニングが主流。明海大学の理念は『社会性、創造性、合理性』で、アクティブラーニングが目指すことと共通している。約50年前の大学創設時に、すでに現在主流の学習形態を描いていた」と述べた。



大勢の保護者が参加した(北陸地区/新潟市)

次はキャリアサポートセンター大田原主幹は就職について詳しく報告。現4年生の内定率が10月31日現在で79・3%になり、未内定の学生も最後まで支援を続けていくと説明。3年生からスタートする行事を紹介。インターンシップについても「今はワンデープログラムが非常に増加している。早めの情報収集が就活成功の力ギ」と続けた。面接では①大学時代に何に力を注いだか②志望動機③自己PRが重要になるので、1・2年生は①を意識して過ごしてほしいと話し、保護者にも電話でもよいので気軽に相談と呼びかけた。

個別面談の後の懇親会では、あちこちで「お久しぶりです」「お元気でしたか」の声が聞こえ

11/25 中国・四国地区(岡山市)
会場/岡山後楽ホテル

最初に栗本会長が挨拶。続いて安井学長は、教育に対する理念として「子どもに近く、保護者とも近くコミュニケーションをとって大学を運営していく」と語った後、「現在教育の世界は、一方的に教員が教えるという時代ではありません。教員が教えるということから社会に出て課題を解決していく、という能力を付けてさせるために施設の改善を図っています」と述べ施設を紹介。



4年生の参加者と栗本会長(中国・四国地区/岡山市)

その後、余智規学生支

援課主任から大学の近況報告があった。特に就職に関して、企業から求められている理想の人物像は、価値観や思考や組織の風土に適合するかどうかという「人柄」、自己を分析する能力や希望している会社の研究がしっかりしているかどうかが重要とされている。この点も「熱意」、そして、この人物ならばわが社に入っても仕事を任せられるという「可能性」が大切である、と力説した。

個別面談ブースでは、面談と並行して担当職員による留学や就職に関する相談も行われ、保護者は熱心に相談していた。懇親会では和やかに進行。今年度で最後になる保護者からは、「来年もOBとして参加したい」などの声も上がっていた。

最後に学生のメッセージ動画が上映されて幕を閉じた。

教職課程相談などのブースも設けているので、利用していただけたら」と挨拶。

安井学長の挨拶に続き、鈴木学生支援課長が大学の近況報告の後、就職に関して説明。企業は「その人に仕事を任せられるか?」を見抜くために「大学で何をし、それから何を学び、それを今後どう生かすか?」を聞いてくる。これを意識して積極的に大学生活を送ってほしい。また「就活はお金がかかるもの。この点もぜひサポートしてあげてください」と強調した。

個別面談では、熱心に説明を受けたり、担当の先生に質問したりしていた。また教職課程や学生生活相談ブースなどでも相談する姿が見られた。

懇親会では、今年度も沖縄県出身者たちが結成した「明海大学うちなーんちゅ会」の学生たちが発行したリーフレットが配られ、保護者宛てのメッセージ動画も上映された。参加者の半分以上が初めての1年生ということもあり、保護者たちは、食い入るようにつめて目を潤ませていた。

談しながら希望の職種に就けるように頑張ってくれるのではと思っています。(盛岡/日本語学科3年)

●今回3回目の参加です。娘は日本語教師になりたいと言っているのですが、就職率の低下などで不安で、国語の教師の方が良いのでは?と聞いていました。でも、今日先生に日本語教師の募集も増えていると聞き、一安心。娘の夢を応援したいと思います。(盛岡/日本語学科3年)

●子どもに大学のことをあまり詳しく聞くこともできず、地区教育懇談会で4年間情報を得ていました。就職活動も離れているので心配でしたが、コーチングの先生がマンツーマンで指導してくれると聞いたのでお任せし、内定をもらうことができました。(東海/不動産学科4年)

学生と教職員が共に大学について考える

1日目

9月11日(月)、12日(火)、石和温泉一華やぎの章慶山」で行われ、教育後援会からも7人が参加した。

井利一学長は「学生の視点でいろいろな意見を寄せてほしい」と話し、続いて教育後援会の栗本真弓会長は「学友会の皆さんの準備が無駄にならないよう積極的に参加したい」と述べた。

その後、4つの分科会に分かれて話し合いを行った。後援会役員は「物怖じせず自分の考えを話す姿は頼もしい」「準備をした学生が感極まって泣いたのを見て胸が熱くなりました」と分科会での学生の様子を話してく

2日目は、各分科会からの報告会が行われた。「課外活動の活性化について」は、明海祭に参加しない学生に参加を促すため、ゼミでの発表を企画してはどうかとの提案が、「大学の魅力について」では、明海大の良さを伝えるために、オープンキャンパスで学生主体の説明会を開催してはどうかとの案が出された。

午後からは「武田神社」ほか3班に分かれて山梨

夕食を囲んだ懇親会は、教職員の席に学生が挨拶に来るなど、明るい雰囲気の家食となった。

2日目は、各分科会からの報告会が行われた。「課外活動の活性化について」は、明海祭に参加しない学生に参加を促すため、ゼミでの発表を企画してはどうかとの提案が、「大学の魅力について」では、明海大の良さを伝えるために、オープンキャンパスで学生主体の説明会を開催してはどうかとの案が出された。

午後からは「武田神社」ほか3班に分かれて山梨

夕食を囲んだ懇親会は、教職員の席に学生が挨拶に来るなど、明るい雰囲気の家食となった。

その後、余智規学生支

大学のさらなる発展に向けたアイデアを

11日昼に石和温泉に着。昼食後、開会式が行われた。学友会の堤馨会長(英米語学科3年)は「交流を通してさまざまな視点があることを知り、新しい気づきを得られると思います」と挨拶。安

井利一学長は「学生の視点でいろいろな意見を寄せてほしい」と話し、続いて教育後援会の栗本真弓会長は「学友会の皆さんの準備が無駄にならないよう積極的に参加したい」と述べた。

その後、4つの分科会に分かれて話し合いを行った。後援会役員は「物怖じせず自分の考えを話す姿は頼もしい」「準備をした学生が感極まって泣いたのを見て胸が熱くなりました」と分科会での学生の様子を話してく

午後からは「武田神社」ほか3班に分かれて山梨

夕食を囲んだ懇親会は、教職員の席に学生が挨拶に来るなど、明るい雰囲気の家食となった。

その後、余智規学生支

援課主任から大学の近況報告があった。特に就職に関して、企業から求められている理想の人物像は、価値観や思考や組織の風土に適合するかどうかという「人柄」、自己を分析する能力や希望している会社の研究がしっかりしているかどうかが重要とされている。この点も「熱意」、そして、この人物ならばわが社に入っても仕事を任せられるという「可能性」が大切である、と力説した。

個別面談ブースでは、面談と並行して担当職員による留学や就職に関する相談も行われ、保護者は熱心に相談していた。懇親会では和やかに進行。今年度で最後になる保護者からは、「来年もOBとして参加したい」などの声も上がっていた。

最後に学生のメッセージ動画が上映されて幕を閉じた。

教職課程相談などのブースも設けているので、利用していただけたら」と挨拶。

参加者の声

リピーター率の高い地区教育懇談会。その理由がこの参加者の感想から読み取れるはず。参加者からの生の声を届けます。

学長や先生と直接話せるのがうれしい

●初めて参加したのですが、大学の教育の取り組みがよく分かりました。また、学部長さんとお話できたことも大変よかったです。今後大学には、社会に出て活躍のできる人材の育成をお願いしたいです。

(北海道/不動産学科3年)

●4月から親元を離れた息子がどんな学生生活を送っているか知りたくて来ました。先生から間接的にお話を聞いたのですが、まるで息子本人から直接話を聞いたように授業のことも、普段



(九州地区/福岡市)

の様子も詳しく教えていただき、感謝しています。(盛岡/経済学科1年)

●4回目の参加で、きちんと卒業できるのかと確認をしたくて足を運びました。この教育懇談会は教職員の方と直接話を聞けるチャンスです。保護者同士の情報交換の場にもなっているので、みなさんにもぜひ参加してほしいです。

(北陸/不動産学科4年)

●今年で2回目。昨年も思ったが「こんなところまで学長がわざわざ来てくれるんだ!」というのが一番の感想。面談の前後も気さくに話しかけてくれた。事務長も面白い方で話がしやすかった。

(近畿・北陸/英米語学科2年)

●今回初めての参加で、授業の様子や単位、学生生活などの話を聞いてみたいと思って来ました。先生方から客観的なお話を聞けたので安心しました。日頃つい口を出しすぎてしまうので、就活のお話の中の「親の価値観を押し付けたくない」という言葉を胸に刻みました。

(福島/HT学科1年)

スライドで大学の設備や施設を分かりやすく紹介

●4年連続で参加させてもらいました。学長が、学内の新しく作られた施設についてスライドで説明してくださり、学生の教育にも力を入れている様子がよくわかりました。

(中国・四国/不動産学科4年)

●大学の教育の取り組みについても、スライドまで用意して説明していただき感謝しています。個別面談では、子どもの成績だけでなく大学での生活の様子まで聞くことができ安心しました。

(九州/HT学科1年)

●初めての参加でしたが、控室でのビデオで大学4年間の流れがよくわかりました。個人面談では、担当の先生が子どもの様子を細かに話して下さり安心しました。参加してよかったです。

(沖縄/HT学科1年)

最新の就職状況が聞ける

●就職活動のことなど、あまり本人は話したがりませんが、先生から楽しそうにインターンシップに行っているという聞き、ほっとしました。大学のサポートが手厚いので、本人が先生と相



談しながら希望の職種に就けるように頑張ってくれるのではと思っています。(盛岡/日本語学科3年)

●今回3回目の参加です。娘は日本語教師になりたいと言っているのですが、就職率の低下などで不安で、国語の教師の方が良いのでは?と聞いていました。でも、今日先生に日本語教師の募集も増えていると聞き、一安心。娘の夢を応援したいと思います。(盛岡/日本語学科3年)

●子どもに大学のことをあまり詳しく聞くこともできず、地区教育懇談会で4年間情報を得ていました。就職活動も離れているので心配でしたが、コーチングの先生がマンツーマンで指導してくれると聞いたのでお任せし、内定をもらうことができました。(東海/不動産学科4年)

談しながら希望の職種に就けるように頑張ってくれるのではと思っています。(盛岡/日本語学科3年)

新春 座談会

各部の監督・コーチ・主将に聞く 「体育会の現状と今後の展望」

明海大学に限らず、部活動やサークル活動、委員会活動など、課外活動に参加する学生が減少傾向にある。一方、東京オリンピックに向け、世間のスポーツへの関心は高まっており、各方面からスポーツに励む学生たちへ応援の声や、支援の手が届いている。教育後援会も毎年、課外活動への援助を続けている。

部活動が盛んな大学は、知名度も高く、学生も集まりやすい。今後、学業の面だけでなく、明海大学が部活動でも注目を浴びる大学になっていくことを目指し、今回の座談会は、サッカー部、ヨット部、空手道部、女子硬式庭球部、陸上競技部の監督と主将を招いて、教育後援会の栗本真弓会長と、戸澤五月副会長が「体育会の現状と今後の展望」について話を聞いた。

関東、そして全国へ 日々の積み重ねが目標への道しるべ

涙をのんだ
サッカー部
ヨット部は
全国大会へ

戸澤(司会) 明
けましておめでと
うございます。今
回は5つの部の監



▲サッカー部 八津川監督(左)
早坂主将(右)

は3チームに分け、午後4時半、6時半に1チーム、6時半〜8時半に2チーム

督と主将の皆さんに集まっていたきました。はじめに、各部の普段の活動の様子を簡単に教えてくださいいただけますか？

八津川監督(サッカー部) 我々サッカー部は、現在部員数90名と大所帯です。人数が多いので、練習は3チームに分け、午後4時半、6時半に1チーム、6時半〜8時半に2チーム

ムが、メイングラウンドとサブグラウンドで並行して練習をしている状況です。

基本的には月曜以外は練習があり、週末は試合が行われています。春や夏には合宿もあり、今年にはトップチーム30人を連れて関西および東海遠征に行きました。関西の強豪大学やFC大阪(JFL)、ジュビロ磐田(Jリーグ)との練習試合など、普段はなかなか対戦できないチームと試合形式での練習を行いました。

早坂主将(サッカー部) 戦績としては、今年こそは関東2部リーグ昇格という目標を掲げていたのですが、それが叶わなかったのが残念です。

倉田主将(ヨット部) 部員数は21名で、練習は火曜と木曜は学内でランニング、トレーニングを中心に行っています。週末の稲毛のヨットハーバーでの練習がメインで、大会が近くなると、葉山で合宿を行うことも多いです。



▲空手道部 上田監督(左)、森主将(右)

火曜と木曜は学内でランニング、トレーニングを中心に行っています。週末の稲毛のヨットハーバーでの練習がメインで、大会が近くなると、葉山で合宿を行うことも多いです。

中、全国で6位という成績でした。4月から21の大会があり、出だしは女子が後半は男子が中心に活躍。女子は全日本では2位。なかなか優勝させてもらえないなどという想いですが、引退したのが3名だけで、ほとんどの部員が今年も残っていますので、次こそはと

過去最高成績の空手道部女子が強い陸上競技部テニス部は部員数が課題

上田監督(空手道部) 部員は34名で、月曜と土曜まで学内で練習をしています。去年最後の全日本インカレへ出場しました。今大会は悪天候でコンディションが悪

3位にも3年生が2名入り、関東の60kg以下級のベスト4のうち3人が明海大学の空手道部という成績を残すことができました。やっとなかなか印象です。

戸澤 2011年に同様の座談会をしたことがありましたが、上田監督はその時は主将を務めていらっしやいましたよね？

上田 はい、そうなんです。戸澤 選手のととき、現在とはやはり競技の見方が違うものですか？

上田 そうですね、正直が楽でしたね(笑)。監督として、選手の試合を見る方がドキドキします。今は目標である団体での関東制覇を達成できず、インカレではベスト16に終わってしまいました。とても悔しい思いをしたのですが、個人で見ると、部の歴史の中で今まで一番良い成績で終わるこ



▲教育後援会 戸澤副会長(左・司会)、栗本会長(右)

とができ、確実にそれそれが成長しているなど感じています。

小泉コーチ(女子硬式庭球部) 本日は、私が昌中監督の代理で参加させていただきます。

テニス部は、現在関東大学テニスリーグの5部に所属しています。年に1回の大会で各部の上位2チームが上の部の入れ替え戦へと進めます。去年はリーグ戦を勝ち抜いて本選に出場できたのですが本選は1回戦で負けてしまい、5部残留という結果でした。個人戦は春夏、冬に

とができ、確実にそれそれが成長しているなど感じています。

岩館主将(女子硬式庭球部) 現在、部員数は6名と少ないため、他大学に比べると不利な部分が多く、思うような結果が出せませんでした。でも、秋のリーグ戦で3部に所属する大学に勝つことができ、全校の中で上位16校に残ることができたのが収穫でした。

川幡監督(陸上競技部) 去年初めて、陸上競技部が体育会に上がり、1年間ご支援ありがとうございました。強豪校では100人を超える部員がいる大学もあるなか、私たちは16名と少人数で頑張っています。現在は、女子に勢いがあり、複数人が全日本インカレ出場

部のまとめりが成績につながる 主将としての役割とは？

人間性や生活態度も大切
背中語るスタイル

栗本 私も学生時代、ずっとバレーボールを続けていて、主将を務めた経験もあるのですが、皆さんはどんなことに気を付けてチームをまとめていきますか？

早坂 チームの士気を高めるために、誰よりも声を出す、誰よりもプレーで示すということはこの1年間意識してきました。とはいえ、それがどれだけチームメイトに影響を与えることができたのか、

そこを測るのは難しいですね。

栗本 陸上競技部は個人競技ですが、いかがですか？

上原 いろんな種目があるので、種目ごとにブロック長をたて、練習の際はそれぞれでまとめてもらっています。そのため、私は練習の中では自分を引っ張っていかないで、学業や私生活の面で

あり、本選を目指して日々頑張っています。

岩館主将(女子硬式庭球部) 現在、部員数は6名と少ないため、他大学に比べると不利な部分が多く、思うような結果が出せませんでした。でも、秋のリーグ戦で3部に所属する大学に勝つことができ、全校の中で上位16校に残ることができたのが収穫でした。

川幡監督(陸上競技部) 去年初めて、陸上競技部が体育会に上がり、1年間ご支援ありがとうございました。強豪校では100人を超える部員がいる大学もあるなか、私たちは16名と少人数で頑張っています。現在は、女子に勢いがあり、複数人が全日本インカレ出場

関東大会で入賞する選手も出ており、部の創設以来、一番の成績を残しています。練習は週に5日、学内の陸上競技場で行っていますが、投てきや跳躍のピットなど、関東で指折りの良い環境で練習をさせていただけです。

上原主将(陸上競技部) 去年5月から主将を務めています。半年間で部の状況は良くなっているように感じます。とはいえ、監督が話した通り、男子が女子に比べて弱いのが現状です。この冬にしっかりと練習を積んで今年の関東大会では、男子の方が良い成績を残せるように負けじと頑張りたいです。



▲陸上競技部 川幡監督(左)、上原主将



背中を見せることを意識しています。私生活からしっかりとしない、スポーツは強くなれないと思っただけで、後輩にも授業をさぼらないように言っています。

川幡 今までこんなに「勉強しろ」と部員たちに言う主将はいなかったですね。部員がどう思っているのかはわかりませんが、良い傾向にあると思います。

森 私も口で言うのは苦手なタイプ

なので、行動で後輩たちに見せていこうと思っただけです。上に立つ人は、みんなに見られては、後輩たちへの発言に説得力を持たせるためにも私生活からしっかりとしようと思っただけです。

コミュニケーションとオン・オフの切り替え

栗本 テニス部は部員が6名と少ないですが、どうですか？

岩館 少人数なので、一人一人と向き合える時間が多いのが良いところかなと思います。誰かが練習を休んだら、「どうしたの？」と声を掛けて、信

頼関係を築くなど、コミュニケーションを大切にしています。先輩・後輩が仲良くすることも大事ですが、上下関係はきちんとしておく、練習中の私語などは厳しく注意しています。オンとオフのけじめのあるチームだと思います。

倉田 私も後輩を怒ることが苦手なタイプですし、強い選手ではないので、後輩を全力でねじ伏せるということもできません。

明海大学体育会から、スポーツ界、そして東京オリンピックを盛り上げよう

課題をクリアにして、より良い部活動に

戸澤 それでは、今年の目標、豊富をそれぞれ聞かせていただけますでしょうか。

國府田 我々ヨット部は毎年全国の上位を争っていますので、勝って「当たり前」の世界にいつまでもヨット部を追い越して、気が楽だなどと思えません(笑)。

でも、後輩のお手本になるような人でいられるように意識しています。ヨットというマイナーな競技をやっている人は、どうしても個性が強い人が集まりがちだと思っただけで、勝手な行動をしたり、言うことを聞いてくれない、そんなときにもどうコミュニケーションをとって統率するかがこの1年、ずっと悩みのタネでもありました。そう

いうときは、監督はもちろん、父親にも相談することが多くて。相談するに絶対ない答えが返ってくるので、いつも頼りにしていました。

岩館 私も、客観的な意見が欲しい時は母親に相談します。やっぱり親の言うことは説得力があるなと思います。

戸澤 親としては相談をしてもらえるというのはうれしいことですね。



▲ヨット部 國府田監督(左)、倉田主将(右)

ド校で、いきなりハードなところからのスタートでも勝たなければいけません。全日本でも一度優勝フラッグをもってこようと学生たちには話しています。かなりハードルは高いですが、やってやれないことはない。「負ける悔しさより、勝つ喜びを」をテーマに

学生たちと一緒に目標達成に向けてチーム一丸となって闘いたいです。

小泉 テニスの部が体育会上がって5年が経ち、徐々に全国クラスの選手が育っています。去年から引き続いた6名の部

頭張ります。

八津川 個人的には、私が監督を務めさせていただいて今年度は10年目で節目の年。私は明海大学サッカー部のOBでもあるので、ずっと掲げ続けている関東リーグ2部昇格の目標の想いは学生たちと同じように持っています。指導者という立場で、

員はそのまま残りますが、団体選は5人のチームで戦うことを考えると、1人欠けただけで大変な状況。まずは部員を確保して、人数を増やして、4部昇格を目指したいです。

岩館 去年は3年生で主将になり、その責任が重く、大変さを痛感しました。去年ダメだった部分をプラスに変えられるように意識してやっていきたいです。

川幡 先日、東洋大学の桐生祥秀選手が100mで9秒台を出しましたし、日本の陸上競技界は大学生が引っ張っていると言っても過言ではありません。大学生が陸上競技を盛り上げて、東京オリンピックなど将来へつながっていくといいなと思います。

私が日ごろから学生に言っているのは、「やるならやる、やらないならやらなくていい」とい



▲女子硬式庭球部 小泉コーチ(左)、岩館主将(右)

うこと。大学生になってもスポーツで続けるのは意志のある人たちで、続けていきたいですね。

また、明海大学の知名度アップも目指したい。

私は関西出身なのですが、実は空手道部の上田監督と同じ高校で。関西からも明海大学にたくさん学生が来てほしいなと思います。明海大学の名前を売っていきけるように体育会として力を合わせてやっていきたいです。

上田 2020年から空手がオリンピック競技になり、競技自体が盛り上がりつつある中で、去年は例年にならぬ結果を残すことができました。1人のカリスマがチームを引っ張っていくチームではありませんが、個人個人がチームに貢献できることをして、協力してやっていくことが大切です。主将はもちろん、監督も偉くはありませんが、1年生は雑用をするとか、そういう分け隔てはなしにしたい。我々は、明海大学全部含めてチームだと思っています。

- 【出席者】**
- サッカー部
 - 監督：八津川義廣さん
 - 主将：早坂武流さん(日本語学科4年)
 - ヨット部
 - 監督：國府田由隆さん
 - 主将：倉田裕太さん(日本語学科4年)
 - 空手道部
 - 監督：上田航さん
 - 主将：森龍斗さん(経済学科4年)
 - 女子硬式庭球部
 - コーチ：小泉順一さん
 - 主将：岩館百香さん(英米語学科3年)
 - 陸上競技部
 - 監督：川幡俊行さん
 - 主将：上原大地さん(経済学科3年)
 - 教育後援会
 - 会長：栗本真弓
 - 副会長：戸澤五月



や歴史があつて強い大学というのは、応援がすごいもの。他の部の皆さんも、保護者の皆さんも、OBOGも、一丸となって明海大学の部活動を盛り上げていきましょう。

戸澤 課外活動に参加する学生が少なくなってきた中で、監督やコーチの指導のもと、一生懸命競技に励んでいる皆さんは本当に素晴らしいと思います。努力する過程目標に向かう姿勢が人間形成に良い影響を与えるはずだと思います。これからも頑張ってください。我々も応援しています。今日はありがとうございました。

大学の就職支援と

最新の就職動向を知る

「関東地区就職懇談会」

7月29日(土)、明海大学浦安キャンパスで、関東地区就職懇談会(1~3年生を対象)が開催され、202名の保護者が参加した。

【第1部】明海大学の取り組み

キャリアサポートセンター長である内苑孝美教授が、大学の就職への取り組みについて説明。就職に強い実学志向の大学を目指し、1年生から就職を意識させるカリキュラムを組んでいる。その結果、学生の意識が以前と比べて変わってきている。社会人としての心構えができ、将来を見据えて学生生活を送ることに繋がっている。内苑教授は、「就職活動は生き物」、業種業界によって採用の仕方はさまざま、日程や方法も年々変わるため、教職員には常に最

新の情報収集をし、学生への情報提供を心がけるよう働きかけている。保護者には「就活には思った以上にお金がかかれます。家族の温かいサポートをお願いします」と話した。

【第2部】講演会

■企業の変化・社会の変化・学生の変化
株式会社リクルートキャリアの大家純一氏による「就職を取り巻く環境変化と支援の在り方」と題した講演が行われた。現在の就職状況については、労働人口の減少やメーカーが減り、医療や福祉、サービス業が増加していることなどを説明。また、「今後はさらにAI化が進み、コンピュータにとって変わる職業や職種があるだろう」と大塚氏。

学生たちの価値観の変化にも触れ、給料よりも社会貢献を重視したり、終身雇用には固執していないことなどを挙げ、「親の価値観で話しているのは、子どもと分り合えない」と話した。

【第3部】パネル

ディスカッション

■「4年生が就職活動体験を語る」
コーディネーター
明海大学総合教育センター准教授 大黒章子氏

「一足先に就活を終えた学生に話を聞いていきませう。面接の時、どんなアピールをしましたか?」
平:13年間サッカーをやってきたことです。プロライダル業界を受けた時は、プロライダル業はチームで目標に向かうので、サッカー経験が役に立つと話しました。
山本:私は気が弱いと言われることがあります。それは、相手のことを考え過ぎるからだと思います。逆に強みにしました。相手のことを考えられるのは接客業に向いているとアピールしました。

野村:私はホテルや航空業を志望していたので、今後この業界で求められるのは、多様性への対応だと思いい、ボランティア活動でいろいろな人と関わったことを伝えました。

野村:「自分のやりたいようにやりなさい」と言ってくれました。「毎日の生活の世話」が一番のサポートでした。
山本:空港のスタッフに...という両親と、化粧品に興味のあった私とで、意見が対立しましたが、勇気を出して話し合いま

志望する業界ではどんな人材が求められるのか研究していたのです。学生生活でやっておいて良かったことは?」
大野:1年生の時に宅建の資格を取ったことです。山本:留学です。帰国したのが3年生の2月だったので、就活に出遅れてしまいました。どの面接でも興味を持ってもらいました。
平:サッカー部の活動です。身近な先輩から直接就活の情報を聞くことができました。
星野:ネイティブの先生と話しで語学を磨いたり、大学施設を活用しました。林:アルバイトやサークル活動など。どこでも人間関係のトラブルはあるものなので、それにどう対処したかが、面接でのアピールにつながりました。



7月29日(土)、明海大学浦安キャンパスで、関東地区就職懇談会が開催され、202名の保護者が参加した。

就職の成否のポイントと、親の向き合い方
就職活動に成功した学生は、インターンシップへの参加率が高いという。実際に企業で「働く」という経験は、その後の活動にも影響するようだ。ひと昔前は「言われたこと、決まったことをきちんと行う行動力」が、現在は「現場での対応・課題解決力」や「自律的行動力」が求められるという。就活の相談があった時は、親が推測で答えるよりも的確なアドバイスを取得するために「キャリアサポートセンター」に相談したり、「親の価値観で話しているのは、子どもと分り合えない」と話した。



「4年生が就職活動体験を語る」の様子。コーディネーターの大黒章子氏(右)と、学生代表の山本(左)らによるディスカッションが行われた。

- 【参加者と内々定企業名】
- 星野健人さん(英米語学科) リゾートトラスト株式会社
 - 平紘夢さん(日本語学科) 大東建託(株)、他1社
 - 山本千佳さん(中国語学科) 樹ザ・ギンザ
 - 朴潤智さん(経済学科) 青山商事(株)
 - 大野剛志さん(不動産学科) 三井不動産リアルティ(株)、他1社
 - 野村妙希さん(ホスピタリティ・ツーリズム学科) 日本航空(株)、他2社

就活中の親との関わり方を教えてください。
野村:エントリーシートを母に見てもらいました。母に伝わらないことは面接官にも伝わらないと思っただけです。そして「ここまで頑張ったんだから大丈夫」と励ましてもらいました。
大野:「自分のやりたいようにやりなさい」と言ってくれました。「毎日の生活の世話」が一番のサポートでした。
山本:空港のスタッフに...という両親と、化粧品に興味のあった私とで、意見が対立しましたが、勇気を出して話し合いま

した。最終的には空港の免税店で化粧品を含めた販売業に決まりました。保護者の方へメッセージをお願いします。
平:就職の最終決定は本人に任せてほしい。私は両親のアドバイスを参考にしながらも自分で決めました。そうでないと、就職してもすぐに辞めてしまいうる気がします。星野:就活はストレスを感じます。家族旅行に連れて行ってほしい、息抜きになりました。
山本:意見を押し付けるのではなく、本人のやりたいことを聞いてほしい。話し合う場を持つことが大切だと思います。
林:インターンシップは大切なので、ご両親からも勧めてください。
大野:自分のことは気づかないこともあるので、「あなたの長所はここ」などのアドバイスをしてほしいです。

野村:就活中に○○ちゃんはどこに決まったらしいなど周囲と比べるに、あなたの味方よと温かく見守ってほしい。

2017年度卒業予定者の主な内定先企業 (2017年10月26日時点)

サービス	東京ベイサイドホテル合同会社
エイチ・アイ・エス	東京ヒューマニアエンタプライズ
東武トップツアーズ	ヒルトン東京お台場
近畿日本ツーリスト	ワールドインテック
白洋舎	国際自動車 (kmグループ)
アクティオ	JALスカイ
ベネッセスタイルケア	マーキュリー
メディカル・ケア・サービス	JALナビア
リエイ	スポーツフィールド
IMS (イムス) グループ	建設・不動産
桐和会	東京不動産管理
ボラス	スターツコーポレーション
TOKAIホールディングス	三井不動産リアルティ
総合警備保障	エイブル
セントラル警備保障	住友不動産販売
日本郵便	ミニミニ
くらしの友	野村不動産アーバンネット
ラウンドワン	オープンハウス
ジョイパック	アーネストワン
リゾートトラスト	近鉄不動産
アパホテル	明和地所
グランビスタホテル&リゾート	FJネクスト
日本ビューホテル	高品ハウジング
ルートインジャパン	タイセイハウジング
東京ベイヒルトン	新日本建設
ザ・ホテルエ・グループ万座	内宮運輸機工
ANAインターコンチネンタル万座ビーチリゾート	積水ハウス
スーパーホテル	タマホーム

新昭和	福山通運
広島建設	センコー
木下工務店	日本交通
木下工務店レジデンス	サイカ引越センター
一条工務店	ヤマトホームコンビニエンス
大東建託	ANAエアポートサービス
金融	ワールドエンタプライズ
日本生命保険	日本航空
第一生命保険	ANAウイングス
茨城県信用組合	エアアジア・ジャパン
千葉信用金庫	メーカー
野村證券	東洋水産
みずほフィナンシャルグループ	不二サッシリニューアル
北陸銀行	
東邦銀行	
千葉興業銀行	
輸送	
福山通運	
センコー	
日本交通	
サイカ引越センター	
ヤマトホームコンビニエンス	
ANAエアポートサービス	
ワールドエンタプライズ	
日本航空	
ANAウイングス	
エアアジア・ジャパン	
メーカー	
東洋水産	
不二サッシリニューアル	

カネボウ化粧品	コーサー
三浦工業	ブリヂストン
伊勢イミヤケ	ユアサ・フナシヨク
大家商会	渡辺パイプ
ジンス	テンポスバスターズ
前田製作所	小島電機工業
資生堂ジャパン	ザ・ギンザ
流通	青山商事
コーチ・ジャパン	ジーフット
MARK STYLER	銀座マギー
ビッグモーター(ビッグモーターグループ)	千葉トヨペット
千葉トヨペット	千葉トヨタ自動車
東京スバル	茨城トヨペット
アウディジャパン販売	カインズ
ノジマ	ヨドバシカメラ

ビックカメラ	ラオックス
MXモバイリング	アドバン
ファミリーマート	生活協同組合コープみらい
ヘルク	キャメル珈琲
ミニストップ	クリエイト・レストランツ・ホールディングス
日本レストランエンタプライズ	叙々苑
レイנסインターナショナル	東天紅
ワンダーテーブル	富士薬品
ツルハ(ツルハホールディングス)	As-meエステール
くすりの福太郎	羽田エアポートエンタープライズ
セリア	情報通信
USEN	テクノ・セブン
サインウェーブ	公務員
警視庁	

※各業種の企業名は順不同
※その他多数の企業から内定あり

後編

学科主任に聞きました

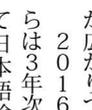
在学中に取得できる 取得しておきたい資格は？

「潮風」48号につづき、各学科の資格取得に向けた取り組みを紹介する。

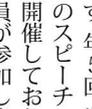
明海大は在学中に取得できる資格が多く、また、そのサポートも手厚い。就職に有利になるのはもちろん、資格取得に費やした努力は、人間的にも成長する糧となるだろう。



外国語学部日本語学科 就職に直結する 一生モノの資格取得を 学科主任 佐々木文彦
日本語学科は外国人に日本語を教える「日本語教員」を養成する学科として1988年に設立され、卒業生は全員文部省(当時)が定めた「日本語教員養成課程における日本語教育専攻」の資格を身につけて卒業して...



外国語学部中国語学科 中国語の資格取得を通して 人間的な成長も 学科主任 遊佐昇
中国語学科は在学中の資格取得の柱は、「中国語検定試験」、「漢語水平考試(HSK)」、「中国語教員免許」の3つです。なかでも、1つ目に挙げた「中国語検定試験」は3級の取得を、中国語専攻において2年から3年の進級要件として設けています...



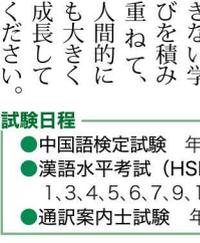
外国語学部英語学科 英語にまつわる資格10αで 希望の進路を目指して 学科主任 津崎崎毅
英米語学科は他学科に比べて、就職先の業種が幅広いのが特徴です。その中でも希望者が増えてきているのは、中学・高校の英語の教員。英米語専攻で教職課程を履修して既定の単位を取り、教育実習を経ると中学校及び高等学校の英語の教員免許課程の履修、教育実習、教員採用試験など、教職に関する課題については2016年4月に新設され...



そのほか、英米語学科として外せない「TOEIC」や「TOEFL」もいきました。資格取得の試験日程
●実用英語技能検定(英検) 年3回
●TOEFL 毎月数回実施
●TOEIC 年10回
●国内旅行業務取扱管理者 年1回 9月予定
●総合旅行業務取扱管理者 年1回 10月予定
●国連英検 年2回 5、10月(1次試験)予定
●通訳案内士 年1回 8月予定



そのほか、英米語学科として外せない「TOEIC」や「TOEFL」もいきました。資格取得の試験日程
●実用英語技能検定(英検) 年3回
●TOEFL 毎月数回実施
●TOEIC 年10回
●国内旅行業務取扱管理者 年1回 9月予定
●総合旅行業務取扱管理者 年1回 10月予定
●国連英検 年2回 5、10月(1次試験)予定
●通訳案内士 年1回 8月予定



そのほか、英米語学科として外せない「TOEIC」や「TOEFL」もいきました。資格取得の試験日程
●実用英語技能検定(英検) 年3回
●TOEFL 毎月数回実施
●TOEIC 年10回
●国内旅行業務取扱管理者 年1回 9月予定
●総合旅行業務取扱管理者 年1回 10月予定
●国連英検 年2回 5、10月(1次試験)予定
●通訳案内士 年1回 8月予定

被災地支援活動「To+Uプロジェクト」活動報告会

11月5日(日)、学園祭が行われている浦安キャンパスで、「2017年度明海大学浦安キャンパス学友会被災地支援活動『To+Uプロジェクト』活動報告会」が行われた。この活動は東日本大震災などの被災地を支援するもので、昨年2月と8月に行った支援活動の様子が報告された。2月17日から20日に釜石高等学校の生徒さんたちと合同で行われた岩手県釜石市でのボランティア活動では、2016年の台風10号の影響を受けた橋野町青ノ木集落で除雪作業を行った。住民の多くが高齢者で、集落へ通じる道は台風の被害で大型重

機が入ることができない。そこで、道の除雪と民家の屋根の雪下ろし作業を行った。「想像以上の雪の多さだった」と学生たち。また、仮設住宅を見学した学生の「仮設住宅は靴下一枚では堪える寒さ。ここの生活はストレスが大きいのではないか」という、肌で感じた話には説得力があった。8月3日から6日の日程で行った活動は、地元の祭り「釜石よいさ」の手伝いを中心に行った。本学は、この祭りが2013年に再開して以来、毎年協力してきており、今回は多くの外国人留学生も参加。マレーシア人留学生のファリカさん(日本語学科4年)は「インドネシア地震のとき、マレーシアにも津波がきて、津波を知らない多くの人が、逃げずに亡くなりました。東北では震災の被害にあった建物を残すか壊すかで議論をしているそうです。私は建物を見て辛いことを思い出す人がいるので、壊したほうがいいと思いま

した。広島原爆ドームは人間のしたこととして残すべきですが、震災はそうではないからです」と話した。釜石側のコーディネーター、三陸ひとつなぎ自然学校の伊藤さんは「震災直後に比べて、釜石を訪れるボランティアの数は年々減っています。明海大学から毎年ボランティアに来てくれるのは本当にうれしいことです」と述べた。栗本教育後援会会長は「親戚が釜石におり、震災後の街の様子を見た時はとてもショックでした。これからも明海大の学生に、復興のお手伝いを続けてほしい」と話した。



東日本震災後、初めて釜石市でボランティア活動から2011年8月からの様子。掲示

フリーマーケット(室内)



季節によって箸置きを変えたいくなる
坂本: かわいい小物がたくさんあってほしくなります
出口: 時間を忘れて見てしまいます

ダンスサークル「Rabbit」



オープニングセレモニーでのステージ発表



めぐり人 (写真左から)
 高橋直美(役員)・戸澤五月副会長
 出口ゆり(役員)・坂本朋恵(役員)

明海祭

キャンパスめぐり

11月4・5日、明海大浦安キャンパスで「第30回明海祭」が行われた。今年のテーマは「Triangle(トライアングル)」。地域の人、在学生、大学への思いを込めて学園祭をコーディネート。学生の活動の場、活躍の場を見に、「行ってきま〜す」



浦安社会福祉協議会

高齢者疑似体験

重りをつけて手足の関節を動きにくくし、ヘッドホンで聞こえづらく、白内障による色覚変化(ぼやける、視野が狭くなる)を想定したゴーグルを着けたりして、高齢者を疑似体験。室内を歩いてみると…。



高齢者に変身中…
 歩くのもやっとの役員2人

えーっ! ぼやけて見えな〜い

戸澤: 歩くだけでも大変。そろりそろりとしか歩けません。体験しないとわかりませんね。これは周りが気をつけてあげないと
 一同: 今まで以上にお年寄りには優しく接しないとね

お待ちかねの軽食タイム

ひと通り見て回ったらお腹キュルキュル〜ということ!

その1
 ベトナム会のベトナムスイーツ(チュータップカム)
戸澤: エスニックの味。あんこ入りですが、案外さっぱりしてます

その2
 PONYの「チーズフランク」
高橋: 卵とチーズがよく合います

その3
 吹奏楽部の「たません」
出口: 初めて食べました。おいしいです

ゲソいかがですか? ドリンクとこのセットがお得です

小原流生け花サークル

よく見ると、花材でハート型に



出口: 留学生の作品もあるんですね
坂本: 若い人らしい色の選び方がいいです

経済学部ゼミ連合

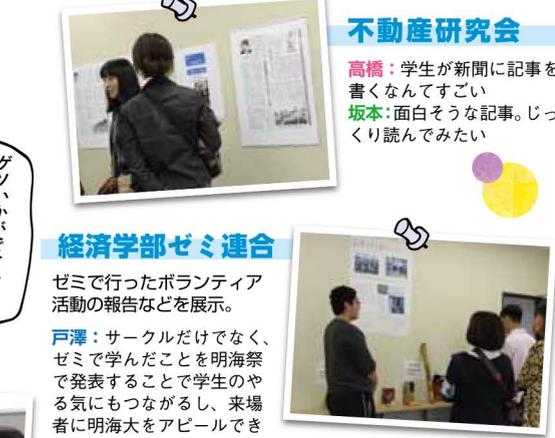
ゼミで行ったボランティア活動の報告などを展示。



戸澤: サークルだけでなく、ゼミで学んだことを明海祭で発表することで学生のやる気にもつながるし、来場者に明海大をアピールできるので、いい試みですね

不動産研究会

高橋: 学生が新聞に記事を書くなんてすごい
坂本: 面白そうな記事。じっくり読んでみたい



茶道部



高橋: おもてなしの心を感じます。
坂本: 着物姿が明海祭に花を添えていますね

Memories(写真展示)

戸澤: 街並みの写真は日本じゃないみたいに綺麗
高橋: 夜景をきれいに撮るのは難しいでしょう?
学生: これは2時間かけて撮影しました
 一同: うわー大変



エコフレンド浦安

ケナフを使って作った紙などを熱心に見学。説明してくださった女性のお子さんは、明海大の卒業生。思わぬ出会いがありました。



円形ステージでの演奏

坂本: いい雰囲気、お酒が飲みたいくなるかも(笑)
戸澤: 演奏のレベルも高いですね



ジャズオーケストラ部



吹奏楽部

出口: 吹奏楽の演奏は聞くと元気が出ますね
高橋: 演奏している学生も、聞いている人たちもみんな楽しそう



卒業記念アルバムについて

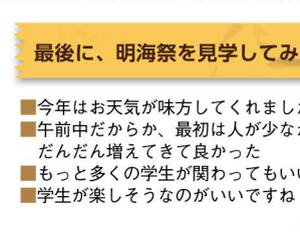
2018年3月・9月の卒業生全員に記念として、教育後援会から卒業アルバムが送付贈呈されます。返品を少なくするため以下の項目をご確認ください。

- ①日本人学生の送付先は、保証人住所(本人宛)になります。保証人住所に変更がある場合は、学生本人が「Webポータルシステム」から届出を行ってください。
- ②アルバムは無料です。送料のみ着払いでご負担いただきます。
- ③お手元に届くのは2018年12月から翌年1月を予定しております。



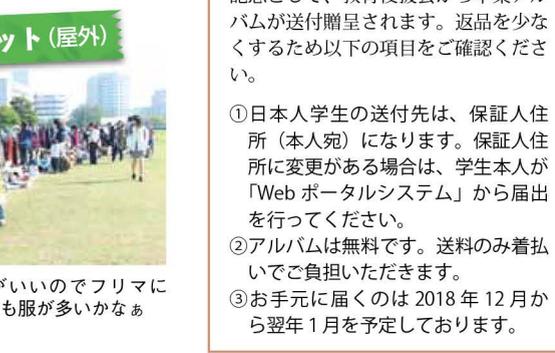
最後に、明海祭を見学してみて…

- 今年はお天気が味方してくれました
- 午前中だからか、最初は人が少なかったけど、だんだん増えてきて良かった
- もっと多くの学生が関わってもいいかも
- 学生が楽しそうなのがいいですね



フリーマーケット(屋外)

戸澤: 今日のは天気がいいのでフリマにもってこいね。子ども服が多いかなあ



平成30年1月31日発行(年2回刊)
 <教育後援会だより>
しおかせ
 発行/明海大学浦安キャンパス教育後援会
 〒279-8550 千葉県浦安市明海1丁目
 電話 047-355-5112 FAX047-355-2871
 http://www.meikai-koenkai.com/

編集後記

私たち教育後援会の中心的活動の地区教育懇談会が、明海大学浦安キャンパスでの関東地区教育懇談会を入れ、全11カ所で開催されました。出席してくださった保護者の方々からは、先生方と直接話すことができ、一人暮らしの子どもの様子、勉強、就職について、よく理解でき、不安がなくなったので、こういった場をぜひ続けてほしい、とお言葉をいただきました。とても嬉しく思いました。

4、5面の「新春座談会」では、どの団体も、真摯な態度でスポーツに向き合っている様子に、胸が熱くなる思いでした。8面の「明海祭キャンパスめぐり」の取材の日は、学園祭日和でした。学生たちに加え、地域で活動している方々の参加もあり、開かれた大学、明海大学の学園祭の特徴だと感じました。

「潮風」49号の編集にあたり、大学の先生方、職員の皆さま、明光企画の皆さま、編集委員の皆さま、心から感謝いたします。
 (編集委員長 戸澤五月)